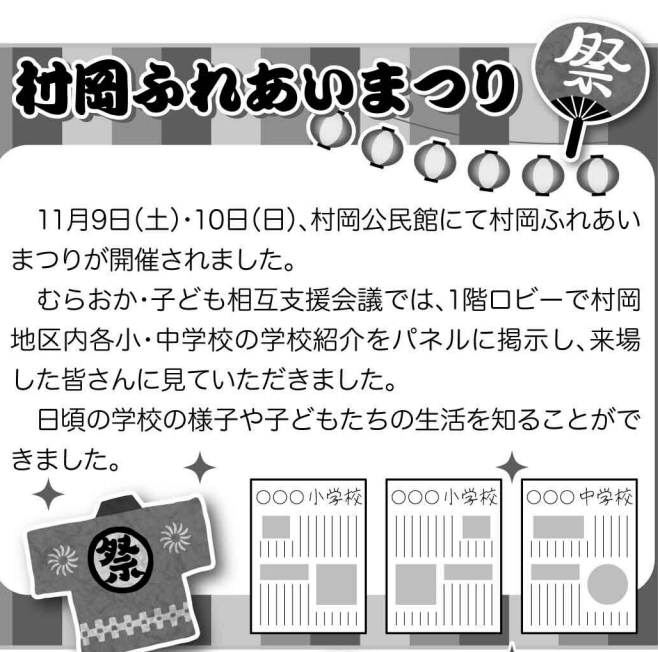




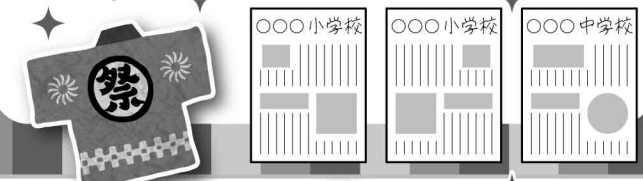
8月23日(金)、村岡地区の青少年育成協力会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、村岡公民館と共催で、あそびの広場を開催しました。地区内の各小学校からの参加があり、全体で300名を超える小学生が、ヨーヨーつり、ビー玉ゴマ作り、バルーンアート、お菓子作り、当てくじを楽しみました。



11月9日(土)・10日(日)、村岡公民館にて村岡ふれあいまつりが開催されました。

むらおか・子ども相互支援会議では、1階ロビーで村岡地区内各小・中学校の学校紹介をパネルに掲示し、来場した皆さんに見ていただきました。

日頃の学校の様子や子どもたちの生活を知ることができました。



ふれあい音楽会

11月23日(土・祝)、村岡中学校の体育館で「ふれあい音楽会」を開催しました。

藤ヶ岡中学校吹奏楽部・村岡中学校吹奏楽部・大道小学校音楽クラブ・大鋸小学校4年生有志の皆さんが参加し、素敵な演奏や合唱をしてくださいました。

予想以上に多くの皆様にお越しいただき、にぎわいのあふれる「ふれあい音楽会」を開催することができました。



安全サポート隊

村岡小学校PTA
安全サポート隊部会長 森 眞美

安全サポート隊は、カードやワッペンを外出時に着用することで「地域全体で子どもたちを見守っている」とアピールし、犯罪を未然に防ぐ手助けをしています。そのため、たくさんの方に参加していただくと効果が高まります。

また、地域の小・中学校へ通う児童・生徒や保護者の皆様にこの活動を知っていただくと、登下校の安心材料になると思います。

今後とも、安全サポート隊の活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

編集後記

「むらおか・子ども相互支援会議」の活動も24年が経過しました。今後とも活動へのご支援とご協力をお願いいたします。

むらおか・子ども相互支援会議 会報

ふれあい

第24号

2025年3月10日発行

発行責任者： 廣田 和江

事務局： 村岡公民館

住所： 弥勒寺1-7-7

TEL： 23-0634

会長からのごあいさつ



会長 廣田 和江

学校・家庭・地域(三者)連携推進事業では子どもたちがより良く成長していくため、多くの人たちとの触れ合いや、さまざまな体験が必要であることから、互いの特徴を生かし地域社会全体で子どもたちの健やかな成長を支援しています。現在15の地域協力者会議で組織され、1つの中学校を基本に、4地区では2中学校を合同とし活動しています。

むらおか・子ども相互支援会議は後者の方で、藤ヶ岡中、村岡中の2校に藤沢東部地区の大鋸小、大道小、村岡地区の高谷小、村岡小、新林小を加えた2中学校、5小学校を一つの単位とし校長先生、保護者、地域諸団体の代表が定期的に集まり、学校での子どもたちの生活について、また地域のさまざまな情報を共有すべく情報交換をしています。

昨年春よりコロナ禍の制約が緩和され、学校生活においても音楽会や運動会、体育祭、文化祭等が行われ従前同様とはいかないまでも、さまざまな工夫と保護者の協力を得ながら実施されて来ようです。

特に運動会は何年も実施されなかったので小学生になって初めての経験で、子どもも先生方も手探り状態での取組であったとお聞きました。また見学も保護者には立ち見をお願いし、学年の出場に合わせ入れ替えの協力をお願いすると聞いた時は正直驚きましたが、保護者も協力し譲り合いながら、お子さんの応援をされており、そうした様子を拝見し大変温かい気持ちになりました。

運営する側と保護者が協力することで、団体活動が成り立つことの大切さを改めて強く感じたところです。

また三者連携としては部会活動も行っており、

- 子どもたちを犯罪や事故から守るため、地域住民の協力を得て登下校時や校外生活の安全確保に努める 【安全サポート部会】
- 各小中学校が参加して合唱や演奏を通して音楽の楽しさを知り豊かな感情を育み、地域住民などか交流を深める 【ふれあい音楽部会】
- 公民館まつりでの学校紹介の展示、講演会の実施を担当する 【発信・共催事業部会】
- 支援会議の広報紙を発行する 【広報部会】

があり、年間を通して話し合いを進めながら実施に向けて活動をしています。

講演会は支援会議のメンバーの勉強会としての内容ではありますが、せっかくの機会ですから、より多くの方に聞いていただきたい内容でもあり、各小中学校の保護者や諸団体の方々にも声かけをして行っています。

11月に行いました、ふれあい音楽会は肌寒い日でしたが、地域の方々も多く参加され、拍手などで盛り上げていただきました。小学生にとっては中学生の演奏が憧れとなり、食い入るように見つめ聴き入っている姿は、実施に向けてお骨折りいただいている教職員の方々のお力添えに感謝しつつ、こうした機会を子どもたちに与えていただいていることに、心から感謝を申し上げたいと思います。

このように多くはありませんが、年間を通して活動しています。基本は2年任期で保護者会は1年での交替もありますが、引き継ぎを密にして参加していただいています。

地域の子どもたちが健康で明るく元気に過ごして欲しいと願い、子どもたちを見守っていくことを目的として、これからも活動してまいりますので、皆様方のご支援ご協力を改めてお願いしたいと思っております。

今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

藤沢市三者連携推進事業とは



環境づくりとさまざまな組織のネットワーク化を図ることが必要です。

そこで藤沢市では、平成11年度から各中学校区を単位に地域協力者会議を組織し、地域の課題を解決する支援体制づくりが進められてきました。これが三者連携事業といわれるもので、市内19中学校区に15の支援組織ができています。(2校で1つの支援組織が4つあります。)

「むらおか・子ども相互支援会議」は、村岡・藤ヶ岡の2つの中学校区で1つの支援組織とし、村岡・大道・新林・高谷・大鋸の5小学校を加えて学校関係者と保護者、地域の人たちで構成しています。

学校から地域に向けて



藤ヶ岡中学校 校長：宮崎 洋子

学校教育目標「**みんなの努力を大事に**」のもと、本校の生徒達は日々学校生活や行事、学習や部活動に精一杯努力して取り組んでいます。また、頑張っている仲間を真剣に応援し、その努力を讃えて互いに支え合う姿は中学生らしく、清々しく輝いています。

今年度は2・3年生が7クラス、1年生8クラスの22クラスでスタートし、年度当初は3学年の縦割りでブロックを組む体育祭はどうなるだろうかと心配もありましたが、生徒たちの力が存分に発揮され、見応えのある充実した取組になりました。市民会館で行われた合唱コンクールや文化発表会も、全校生徒が一堂に会して実施することができ、上級生から下級生へと、本校の学校教育目標の精神が受け継がれていくことを日々感じているところです。

地域の皆様には日頃より温かなご支援とご協力を賜り感謝申し上げます。今後も子ども達の心豊かな成長を支え、見守っていただきますよう宜しくお願いいたします。



▲体育祭



▲文化発表会



▲合唱コンクール

村岡中学校 校長：亀山 憲生

『心理的安全性』が高い学校になる Let's be happy all together!

本年度はとにかく異例の「暑さ」の中でしたが、体育祭、修学旅行、運動部の大会、合唱コンクール、文化祭などの行事を無事に行うことができホッとしています。生徒たちが自主的に計画や準備をしながら、生き生きとして活動する場面を直接披露することができました。

地域の皆様には、生徒の成長のためにいつも温かく見守っていただき心より感謝申し上げます。お互いを信頼し、生徒全員が安心して生活できる学校を目指し、村岡中学校に学校にかかわる全員で取り組んで参ります。

引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



▲体育祭



文化祭▶

村岡小学校 校長：佐々木 貴



▲運動会



▲今年の運動会のスローガン

村岡小学校は、学校教育目標として掲げる『**人間性豊かで、たくましく生きる子どもを育てる**』という理念のもと、地域とともに歴史を紡いできた学校です。

開校は明治6年、令和5年度には創立150周年を迎えました。

地域の皆様には、日頃から本校児童を温かく見守り、支援していただき、ありがとうございます。

今年度は11月に運動会が行われました。自分たちの学年の種目を力一杯競技・演技したことはもちろんですが、友だちの、他の学年の、村岡小学校のみんなの競技・演技に大きな声援と拍手を送っている姿を見ることができました。

それぞれの学年の演技を見て、上級生へのあこがれの気持ちや自分の何年か前の姿を思い出し、あらためて自分の成長を感じることができたのではないのでしょうか。この運動会、そして、これらに向けての取り組みのなかで、すこしでも「なりたい自分」に近づいてくれているとうれしいです。

これからも児童が「わかった!」「できた!」「がんばった!」「もっとやってみよう!」と感じながら、「なりたい自分」に向けて一歩ずつ進んでいく姿を地域の皆様で見守っていただきますようお願いいたします。

高谷小学校 校長：岩並 裕子



▲心に咲く花がいっぱい高谷小

学校教育目標「**地域・社会で生きる子を育てる～つむぎ 育てる～**」
本校は25学級815名が在籍し、「**助け合う高谷っ子考える高谷っ子 優しい高谷っ子**」を子どもたちとの合言葉にしています。

毎日、学校前の坂を上って登校して来る本校の子どもたちは、とてもエネルギーで休み時間も校庭から元気な声が聞こえてきます。

また、コミュニティ・スクールとしての活動を始めて3年目となりました。「学校と地域をつなごう」という願いから、今年度は高谷っ子の絵を地域に飾ろうという取組をしており、町内会の皆様のご協力をいただきながら、高谷小の子どもたちの絵が地域を彩っていきます。

地域の皆さま、本校児童を日頃より温かく見守っていただき、ありがとうございます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

新林小学校 校長：沙田 吉穂

新林小学校には、現在22クラス709名(582世帯)の児童が在籍し、毎日元気に活動しています。

学校目標「**人とのかかわりを大切にし、ささえあえる子どもを育てる**」のもと、豊かな関わりの中で子どもたちが主体性をもって様々な活動に取り組むことができるよう努めています。今年度もたてわり活動や集会活動等、全校児童と一緒に活動する場面がたくさんありました。また、保護者や地域の方々に学校の教育活動をサポートしていただき、たくさんの方との関わりの中で子どもたちは成長しています。

来年度は、本校にも学校運営協議会が設置されます。子どもたちの健やかな成長のため、今まで以上に学校・家庭・地域の連携を図っていきたいと思います。

地域の皆様には、いつも温かく見守っていただき感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。



▲運動会



▲たてわり活動

大鋸小学校 校長：山崎 晋治

今年度開校45周年を迎え、現在、25クラス、766名(600世帯)の子どもたちが在籍しています。

昨年度よりもやや児童数が減少しておりますが、大鋸の丘には、毎日、多くの子どもたちが登校してきます。今年度も、『**“笑顔の輪”をひろげよう大鋸小**』をスローガンとし、大鋸小学校にかかわる全ての人が、温かくつながる学校を目指しています。また、学校教育目標「**自らの体験を通して伸びようとする子どもの育成**」を目指し、様々な体験活動や経験から、学びを深めていけるように努めています。

学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールとしての取組が進んでいく中、今まで以上に、学校・家庭・地域の連携が大切になってくると思います。

子どもたちが、地域の方々に見守られ、かかわりの中で健やかに成長していけるよう、これからもご理解とご協力をお願いいたします。



45周年記念航空写真▶



45周年記念鑑賞教室
『オーケストラの演奏に合わせて校歌を歌う』

大道小学校 校長：梶浦 いづみ

大道小学校は今年で創立70周年。校名には、中国の老子の言葉にある「**自然のままに飾らず欲張らず、正しい道＝大道を歩みなさい**」という思いが込められています。

今年度も、「**ともに学び、ともに育つ大道の子**」を目標に掲げ、学年行事や異学年交流、児童の企画による集会の実施、施設や商店が多く市役所に近い立地を生かした体験活動等、多様な学びを実践しています。

来年度からは、コミュニティ・スクールとして、地域に開かれた魅力ある学校づくりを進めてまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



▲6年生 市内体育大会



▲2年生モビリティ・マネジメント(MM)教育



▲70周年記念行事～書道パフォーマンス～



▲図書委員会 読み聞かせ